

2015

地方議員向けサマースクール

受講者募集！

全国の自治体は、少子高齢化の進行により人口減少社会が到来する中で、厳しい財政状況のもと、様々な行政課題に取り組んできたところですが、東日本大震災以降に「地域力」の重要性が改めて注目を集める中で、これまでの取組をさらに進化させ、魅力と活力ある地域づくりを進めることが求められています。

一方、国においては、地方分権改革の推進は、地域が自らの発想と創意工夫により課題解決を図るための基盤となるものであり、地方創生において極めて重要なテーマであるとして、地方からの改革提案についての制度改革を強力に進めていくことにしているところです。

そうした中で地方議会は、住民自治の拡充のために、行政を監視・評価し、住民の意見を地域の政策課題に反映されるべく集約・代弁し、さらに、住民に対して説明するという地方議会に期待される機能をより発揮することが求められています。

そこで、北海道大学公共政策大学院(HOPS)では、地方議会のさらなる活性化と地方議会議員の自己啓発・自己研鑽に資するよう、社会貢献活動の一環として、「地方議員向けサマースクール」を開講します。

地方議会の活性化や地域の振興に志を抱く多くの皆様の積極的な参加をお待ちしております。

◆開催期間：平成27年8月17日（月）～8月18日（火）

◆開催場所：北海道大学公共政策大学院

本年度のサマースクールの特色

1. 地方議会議員等のスキルアップにつながる具体的テーマとして、「空き家対策」を取り上げます。
2. 本大学院の多彩な教員が講師・ファシリテーターとして携わるほか、基調講義や事例紹介のために外部の研究者・実務家も講師として参画します。
3. 「構想力と実現力の融合」を目指す本大学院の特色を活かし、参加者が自ら考え、発表し、討議する機会を多く設けます。

北海道大学公共政策大学院 2015 地方議員向けサマースクール日程

月 日	時 間	内 容
8月 17日 (月)	12:45 ~ 13:00	受付
	13:00 ~ 13:10	◆開講オリエンテーション 写真撮影（集合写真）
	13:25 ~ 14:55 (1.5 時間)	◆自治体政策法務の観点からみた空き家対策 上智大学法科大学院長 北村 喜宣
	15:10 ~ 16:40 (1.5 時間)	◆札幌市における空き家対策の取組（事例紹介） 札幌市議会議員 細川 正人 札幌市都市局建築指導部建築安全推進課 監察担当課長 二宮 力
	16:45 ~ 17:30 (45 分)	◆道内市町村の「空き家対策」のアンケート調査報告 NPO法人公共政策研究所理事長 水澤 雅貴
	17:35 ~ 17:50	◆1日コース修了証書授与
	18:00 ~ 19:30	◆意見交換会（夕食懇談会・立食） 場所:エンレイソウ
8月 18日 (火)	9:00 ~ 12:00 (3 時間)	<演習・グループ討議> ◆ケーススタディの検討（秋田県大仙市の空き家対策の事例演習） A 班 北海道大学公共政策大学院特任教授 小磯 修二 B 班 北海道大学公共政策大学院准教授 村上 裕一 C 班・D 班 北海道大学公共政策大学院教授 笠松 拓史
	13:00 ~ 14:30 (1.5 時間)	<演習・全体討議> ◆ケーススタディの検討結果の発表・意見交換 北海道大学公共政策大学院特任教授 小磯 修二 北海道大学公共政策大学院准教授 村上 裕一 北海道大学公共政策大学院教授 笠松 拓史
	14:40 ~ 15:00	◆閉講オリエンテーション 2日間コース修了証書授与

(注) 2日間コースの受講生の皆さんには、受講前に、演習で取り上げる事例についての事前学習の資料作成・提出をお願いすることにしてあります。2日目の討議は、その上でグループに分かれてワークショップ方式での検討を行い、グループ毎に意見を集約した後、全体で発表を行い、全員での意見交換により議論をさらに深めます。